

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表）

事業所名 はっぴいチャイルド 職員数6名

令和 7年 3月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			4月よりグループ分けをし、1階と2階を使用し療育・活動開始（試験的に開始している）
	②	職員の配置数は適切であるか	6			規定の人数の倍配置分けでも支障なく支援が出来る
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		玄関先はバリアフリーになっていないが、室内はフリーである。2階へ行く階段は広く、手すりは子供用の低めに設置
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		少人数の職場なので、全員で意識しながら取り組んでいる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			要望があった部分は職員と話し合い組み入れる様している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		事業所玄関・保護者に手渡し・ホームページ掲載は調整中
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2	第三者はいるが評価をしてもらってない為、今年検討する
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部研修・内部研修・書籍・youtubeでの研修、外部研修は内容を見て参加者を決めている。研修報告も行い周知する
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			ニーズの聞き取り表を作り、保護者・利用者にも書いてもらっている その上で計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	3	未就学児のみ使用 学童用は検討中
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			年間計画・月計画を職員全員で行っている

提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		時期的に行う遊びを取り入れている（縄跳び等）夏は買い物学習を計画
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			長期休みはお楽しみを入れ療育をしている レンジを使つてのカップケーキ等
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別は利用者に合わせコミュニケーションの学習、 集団活動はアナログゲームを行ない、順番やゲームの過程を楽しむ事をしている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			主任を中心に話し合う。職員の役割順番は1か月ごと調整をしている、どの利用者も担当が出来る様にと考えている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		主任を中心にその日の療育で気になったことを話している 特に気になった利用者はすぐ共通理解を測るようにしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		活動記録は勿論の事、ケース記録は振り返りの為にきちんと付けている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			併用している事業所・学校等の情報がないと判断できない所があるため定期的なモニタリングを大切にしている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6			5 領域を意識し活動に取り入れている
関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者・自発管や主任が出ている
関	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	5		学校との情報交換は少ない、保護者を通じて行っている。学校でのトラブルは連絡帳、担会で、後でわかる事の方が多い。
や	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	4 月から受け入れる様になるが、保護者を通じて調整中
保護者との連携関係機	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	就学前に担当者会議を行うようにしている
関	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する	4		2	中学生迄なので、サービス事業所へは情報提供をしていない、相談支援員を通じて情報を伝えている

保護者との連携		場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	センター自体も新しいので活用していない。今後活用したいと思っている 他地区のセンターに相談したことがある
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		5	特性を考慮し、行っていない。園や学校の交流で十分と感じている。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6			管理者や自発管が参加している
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			療育終了後、その日の様子を話している。又、緊急の場合は相談可能で対応している
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			隔月のおしゃべり会やお知らせに内容を載せている。個別にも対応している。働いている親さんが多いので参加率は低い
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に詳しく説明をしている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			子供さんの事は勿論家庭内の悩み等も聞いて、親さんのストレスの緩和に努めている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		2	保護者会は作っていない。2 か月に一回おしゃべり会を開催。勉強・悩み等を話し合っている 保護者会を作る必要性がないと思っている
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			内容を精査し対応。第三者委員会の活用なども含めお伝えしている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			その月の行事報告、お知らせなど、毎月、はっぴいチャイルド通信を発行。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			鍵付きキャビネット管理。シュレッターで処理。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			ラインで療育中の様子を動画や写真でお知らせしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	療育中心の事業所なので利用者だけの事業をしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			対応マニュアルを周知していく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			利用者に沿った方法で、年間スケジュールに組み入れ、地震・火災の訓練・雪道の歩き方など紙芝居や実地訓練等を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年間スケジュールに組みこみ研修している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			拘束が必要な児童はいない。が、あった場合は説明の上、記載する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	2	保護者からの聞き取りで把握。台所に 1 人ひとりのアレルギーを貼って、おやつなどに備えている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			危険な事はすぐ対応し、職員全員に共有している